

学校教育目標	「志す・翔く・拓く」 知：自らの課題に根気強く向き合い、学び続ける力を育みます。 徳：共感、共生の大切さと楽しさに触れ、豊かな感性を育みます。 体：生命や心身の健康を尊重し、たくましく生きる力を育みます。 公：相互に協働し、豊かな人間性と社会性を高める力を育みます。 開：多様性を尊重し、新たな価値をすすんで創造する力を育みます。					
	学校概要	創立 80 周年	学校長 阿部 みゆき	副校長 吉川 真太郎	3 学期制	一般学級：16 個別支援学級：4
児童生徒数： 576 人		主な関係校： 小机小学校・城郷小学校・東本郷小学校・菅田の丘小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	城郷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p><社会で活用できる知識・技能> <未知の状況に対応できる問題発見と解決能力> <多様性を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力></p>	<p>城郷中学校 小机小学校 城郷小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に愛され、地域に貢献する子どもを育てる ・あいさつを通して、豊かなコミュニケーション能力を発揮できる子ども 「自ら学び、鍛え、高める」【基礎学力の定着】 「自分を磨き、ともに輝く」【豊かなコミュニケーション能力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で身に付ける力の共通理解及びICTの効果的な活用を図り、授業研究会を実施。 ・目指す子ども像についての視点を確認し、小中連携による9年間で育てる子ども像の実現に向けた授業改善を図る。 ・特別な課題を要する児童生徒の情報共有と特別支援教育への充実を図る。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の組織力の向上を図るとともに、地域、小学校との連携・協同を推進することで、活力のある学校を目指します。 ・生徒一人ひとりの思いを大切にしながら、仲間と協働し、学びを深める授業づくりに努め、ICTを活用しながら主体的に学習に取り組む態度を育成します。 ・いじめの早期発見やトラブル防止のために、生徒の活動場면을丁寧に観察し、生徒一人ひとりに応じた指導を目指します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	<ol style="list-style-type: none"> ①授業内容や方法を構築し、主体的に学習する態度、ICT端末を効果的に活用し学習に取り組みながら課題解決する力を養う。 ②学期末等による授業評価を実施し、集計結果を基にしながら授業改善を行う。 ③学力・学習状況調査のデータ結果を活用し、授業改善に努めるとともに、「学習相談」を効果的に活用し、つまづきの確認、学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指す。
担当 学習指導部	
徳 人権教育	<ol style="list-style-type: none"> ①全教育活動において自他の生命や体、他を思いやり、互いに認め合う心を育成する。 ②道徳教育を充実させ、一人ひとりの個性を認めあえる学校づくり、自分の思いを安心して表現できる学校づくりを行う。 ③子ども会議のテーマを基に学級討議等を深め、生徒の意見を取り入れながら、生徒間での課題解決能力の育成に努める。
担当 学習指導部	
体 健康教育	<ol style="list-style-type: none"> ①運動をしたり、親しんだりするために必要な資質・能力の向上を図るとともに、健康の保持増進の実践力の育成を図る。 ②食を通じた健康な心身の育成の重要性を理解させ、自ら健康な食生活を実践するための資質・能力を育成する。 ③安全で生活しやすい環境を自らつくろうとする態度と能力を育成する。 ④集会では生徒が主体となって運営できるようにする。
担当 保健安全指導部	
公開 ESDの推進	<ol style="list-style-type: none"> ①SDGsを推進するため17項目や関心のある項目を意識させ、ICTを活用しながら実社会の課題を自分事として捉えられるようにする。 ②様々な生徒活動でSDGsと関連させ、生徒が主体となって身近な課題解決に向けた活動になるようにするとともに、家庭や地域に発信する。
担当 学習指導部・特活指導部・教務部	
いじめへの対応	<ol style="list-style-type: none"> ①子ども会議等において生徒が話し合う機会を年間活動に設定し、生徒自ら考える未然防止への取組を実践する。 ②教育相談・生活アンケート・YPアセスメントを実施し、毎日の健康観察(スタナビ)からも生徒の状況把握に努め、変化を見逃さない体制づくりをする。 ③定期的な「いじめ防止対策委員会」を開催し、積極的にいじめを認知し、実態把握、分析、対応に努める。 ④各学年の対応の記録を徹底していく。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	<ol style="list-style-type: none"> ①計画的な授業力、生徒指導力など実践力養成に役立つ校内研修の実施により、教職員の指導力向上を目指す。 ②校務分掌の各部に若手、中堅、ベテランをバランスよく配置し、業務を効果的に遂行する。 ③会議日等の調整、職アシ活用、部活動休養日設定及び外部指導者登録等、負担軽減し持続可能な業務の在り方を検討するとともに、ICTを有効活用し、情報の共有化を図る。
担当 教務部・メンターチーム	
地域学校協働活動	<ol style="list-style-type: none"> ①学校運営協議会(地域コーディネーター)協働でのキャリア教育を実施するとともに、運営協議会委員の参加等を計画し、生徒の自分づくり教育の充実を図る。 ②地域の行事、各町内会等へのボランティア参加をICTを活用しながら情報発信及び啓発し、生徒が主体的に参加できるようにする。
担当 教務部	
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒理解及び生徒支援に努め、「生活のやくそく」に則した組織的な指導を行う。また、生徒会活動での話し合う機会から生徒が生活しやすい環境作りに反映させていく。 ②年3回の困り感アンケートや教育相談を軸に、生徒一人ひとりに寄り添った組織的な取り組みをする。また、毎日のスタナビ等を活用した健康観察に努める。 ③教職員間、スクールカウンセラー、SSWとの情報交換・共有の徹底を図ると共に、対応記録を徹底する。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	<ol style="list-style-type: none"> ①特別支援教育委員会の定期開催を実施し、一人ひとりの思いに基づいた個別の指導計画を基に支援を要する生徒の理解及び対応を深める。 ②ICTを効果的に活用し、個に応じた学習支援(学習ソフトを円滑に活用)を実施し、家庭との連携を深める。 ③特別支援教室(学習室)の改善に努め、生徒が安心して学習できる環境整備、教育活動の見直し等を実施する。
担当 特別支援教育委員会	
担当	